

2015年度 一般社団法人日本社会福祉学会 事業計画

一般社団法人日本社会福祉学会は、定款に定められた公益目的を達成するために、2015年度は下記の事業を行う。なお、2015年度は、事務局業務の全面委託の2年目にあたる。新しい事務局体制での事業をより円滑に実施できるよう努めていきたい。

記

1. 学術研究集会・講演会等の開催について

社会福祉学の研究成果の発表・知識の交換を行うために、下記の事業を推進する。

1) 第63回春季大会・秋季大会について

- ・学会本部企画シンポジウムを中心とした「春季大会」

テーマ：「社会福祉をとらえる総合化の論点—理論・政策・実践—」

開催年月日：2015年5月31日（日）

開催会場：法政大学市ヶ谷キャンパス

- ・会員の研究発表を中心とした「秋季大会」

テーマ：「社会福祉学は社会にどのように貢献してきているのか」

開催年月日：2015年9月19日（土）～9月20日（日）

開催会場：久留米大学(御井キャンパス)

前回の秋季大会と同様、抄録集はWEBでの閲覧を原則とし、開催コストの削減を目指す。若手研究者の育成を目的とした質的調査と量的調査を組み合わせた研究のワークショップを開催するとともに、昨年度より開催された留学生のためのワークショップも引き続き開催する。特定課題セッションもこれまで通り実施し、研究水準の向上に資することとする。

2) 各地域ブロック研究大会について

各地域ブロックの「研究集会」等を支援し、地域ブロックの研究活動の活性化を図ると同時に各地域の学術振興に寄与する。

3) 日本社会福祉学会フォーラムについて

地域ブロックと連携し、学術フォーラムを開催し、地域における社会福祉学の普及・推進を図る。

2015年度は関西ブロックにより開催をする。

2. 学会誌の刊行について

会員の研究成果を国内外に公表するために、下記の事業を推進し、研究成果の普及に努める。

1) 学会誌「社会福祉学」を年4回刊行する。

2) 英文誌<Japanese Journal of Social Welfare>を電子ジャーナル中心に刊行する。

3. 研究の奨励・研究業績の表彰について

会員の研究水準の一層の発展を図るために、学会賞事業を推進すると共に、若手研究者の育成に努める。

4. 関連学術団体との連携について

従前通り、関連学術団体との連携を図る。「日本社会福祉系学会連合」、「社会学系コンソーシアム」、「社会政策関連学会」などの活動を支援すると共に、本学会の研究水準向上に努める。

5. 国際交流および研究協力の推進について

- 1) 韓国をはじめとする東アジア諸国の社会福祉系学術団体との連携および学術交流を推進する。
- 2) 欧米諸国の社会福祉系学術団体との学術交流を検討する。
- 3) 在日留学生会員の育成・支援を行う。

6. 広報活動について

- 1) ホームページを通じて学会の会員とともに社会に対する情報発信に努める。ホームページのリニューアルに引き続き、中高生向けページや、海外への情報発信という観点から英文ホームページの充実を図る。
- 2) 「学会ニュース」（年3回発行）の内容を充実させるとともに、学会としての最新の情報や関係団体の動向等、タイムリーな情報提供を行う「広報委員会だより」（年5～6回一斉メール送信）の配信も引き続き行う。

7. 研究倫理について

研究倫理向上に向けて研究倫理指針の周知徹底を図る。また学会誌投稿に関わるルールと適合した倫理指針の検討を継続して行う。

8. 各地域ブロックへの支援について

「地域ブロック助成金配分基準」に基づいて助成する共に、各地域ブロック事業計画を尊重し、「地域ブロック担当者委員会」を通じて、地域ブロック事業を支援する。

9. 総会・理事会活動について

「定時社員総会」を5月31日に法政大学市ヶ谷キャンパスで開催する。学会運営を円滑に遂行するため「理事会」および「運営委員会」を開催する。

10. 運営委員会の活動について

事務局業務の全面委託を受けて、新たな体制での事務局業務の円滑な実施をすすめ、安定した学会運営を実現する。

11. 委員会活動について

上記の諸事業計画を推進するために、役員会を中心に下記の常設委員会および地域ブロックと連携し、学会運営に当たる。

常設委員会：研究委員会・全国大会運営委員会・学会賞審査委員会・研究倫理委員会・
国際学術交流促進委員会・機関誌編集委員会・広報委員会・
地域ブロック担当者委員会（地域部会委員会）

各地域ブロック事業概要

1. 主たる事業

- 1) 北海道：①研究大会・総会の開催 ②研究会開催 ③機関誌刊行・ニュースレターの発行 ④理事会（運営委員会）の開催 ⑤ホームページの運営
- 2) 東北：①研究大会開催 ②機関誌刊行・ニュースレターの発行 ③幹事会（役員会）の開催
- 3) 関東：①研究大会開催 ②機関誌刊行（電子ジャーナル）・ニュースレターの発行 ③運営委員会、各部会活動の実施・運営 ④ホームページの運営
- 4) 中部：①研究例会開催 ②機関誌刊行 ③「院生・若手研究者のための勉強会」の開催
- 5) 関西：①年次大会開催 ②若手研究者・院生情報交流会開催 ③理事会開催 ④機関誌の発行 ⑤ニュースレターの発行
- 6) 中国四国：①年次大会開催 ②総会開催 ③部会委員会開催 ④活動の広報 ⑤機関誌刊行 ⑥会員連携の共同研究の検討 ⑦大学院生・若手研究者育成事業の実施
- 7) 九州：①年次大会開催 ②機関誌刊行 ③運営委員会の開催

2. 地域ブロック大会・研究会等活動

地域名	開催月日	開催場所	備考
北海道	未定	未定	研究会を年3回開催
東北	2015年7月	青森県立保健大学	
関東	2016年3月ごろ	未定	
中部	2015年4月	日本福祉大学	院生・若手研究者のための勉強会を年2回開催
関西	2016年2～3月ごろ	未定	若手研究者交流 年3回開催
中国四国	2015年7月	聖カタリナ大学	
九州	2015年6月	九州保健福祉大学	

3. 機関誌刊行・広報活動

地域名	機関誌刊行	広報活動
北海道	年1回	ニュースレター 年5回
東北	年1回	ニュース 年2回
関東	年1回刊行（電子ジャーナル）	ニュースレター 年1回12月ごろ（紙媒体） メールマガジン、公式 twitter、Facebook、RSS 機能を活用
中部	年1回	
関西	年1回	ニュース 年2回
中国四国	年1回	会報 年数回（定期年2回）
九州	年1回	

以上